

# 総務文教委員会 県外行政視察レポート

副委員長 小島 隆

このたび、総務文教委員会は北海道を訪問し、指定管理者としてのスタジアム運営と課題（株式会社札幌ドーム）、財政健全化計画（歌志内市議会）、地方都市における移住推進事業（小樽市議会）、公立四年制大学の運営と課題（札幌市立大学）について行政視察を行ってきたところであり、その概要をレポートする。

## 1 日程

日 程	視 察 先
平成21年 2月 4日（水）	・株式会社札幌ドーム
平成21年 2月 5日（木）	・歌志内市議会 ・小樽市議会
平成21年 2月 6日（金）	・札幌市立大学

## 2 参加委員

小 島	隆
小 林	一 大
沢 野	修
中 原	八 一
村 松	二 郎
渡 辺	惇 夫
石 井	修
内 山	五 郎
市 川	政 広
若 月	仁
佐 藤	浩 雄
横 尾	幸 秀



### 株式会社 札幌ドーム

視察テーマ：指定管理者としてのスタジアム運営と課題について

## 1 会社概要

設立	平成10年10月1日
事業内容	(1)ドームのアリーナ及び客席部分の貸館経営 (2)スポーツ、コンサート、展示会など各種興行の企画・運営 (3)レストラン、売店などの経営 (4)ドーム展望台及びドーム見学ツアー事業の運営
資本金	10億円

株主	札幌市 札幌商工会議所 北海道電力(株) 北海道瓦斯(株) (株)北海道新聞社 (株)北 洋銀行 (株)北海道銀行 サッポロビール(株) (株)プリンスホテル (株)竹中工務店 大成建設(株) 北海道コカ・コーラボトリング(株) (株)電通 (株)電通北海道 (株)大広 東日本電信電話(株) 近畿日本ツーリスト(株) (株)NTT東日本ー北海道 NTT北海道 テレマート (株)北海道キリンビバレッジ(株) 北海道ペプシコーラ販売(株) (株)JTB 北海道 (株)JTB商事 北海道放送(株) 札幌テレビ放送(株) 北海道テレビ放送(株) 北海道文化放送(株)
指定管理者	非公募施設 指定期間：平成18年4月1日～平成22年3月31日（4年間）

## 2 2008年3月期（第10期）決算概要

売上高	36億76百万円（前期比 4.0%増）	過去最高
経常利益	5億41百万円（前期比46.4%増）	過去最高
当期純利益	3億17百万円（前期比 52.1%増）	過去最高
イベント等開催日数	141日（前期比 12日増）	過去最高
総利用日数	266日（前期比 1日増）	
稼働率	72.7%（前期比 0.1%増）	
イベント来場者数	287万人（前期比 11.2%増）	過去最高
観光来場者・市民利用	10万人（前期比 1.2%減）	
総来場者数	297万人（前期比 10.7%増）	過去最高

## 3 運営と課題

- (1) 指定管理料は127,939千円で売上高に対する割合は非常に少ない。
- (2) 設立以降9期連続黒字を達成。
- (3) より一層安定した経営基盤のもと、公の施設を管理運営する企業として期待される社会的使命を果たしていく必要があることから、平成20年度は、「多目的ドームとしての更なる可能性の追求」、「社会と環境への取り組み」、「コンプライアンスの徹底」という3つの重点課題を掲げ取り組んでいる。

## 4 主な質疑項目

サッカーモードから野球モードへの場面変更にかかる費用及び年間の場面変更回数について  
プロ野球の本拠地を持つことによる北海道内外からの誘客効果について  
プロ野球とプロサッカーの経営面に与える効果の違いについて  
ドーム化やモード場面変更など施設建設に当たっての主な議論の内容について

### 歌志内市議会

視察テーマ：財政健全化計画について

## 1 人口の概要

明治30年代、人口は7千人余りであったが、明治40年代に1万人、大正時代には2万人を突破し、有数の一大炭鉱都市を形成した。昭和になってからも人口増加はめざましく、昭和23年に最多の4万6千人となった。

その後、昭和36年ころまで4万人前後の人口を保っていたが、昭和40年代に入ると、石炭産業の不振から閉山が相次ぎ、過疎化の一途をたどり昭和56年には1万人を割った。

さらに、平成7年3月の空知炭鉱閉山が人口減少に拍車をかけ、平成19年には5千人を下回り、平成20年12月31日現在、4,792人で、日本で一番人口の少ない市である。

## 2 財政状況

唯一の基幹産業であった空知炭鉱が閉山となり地域経済が崩壊の危機にさらされたことから、地域振興策事業や福祉施設等整備等に約106億円の事業を実施したので、起債償還額が多額となっている。また、平成12年度から空知産炭地域総合発展基金より不適切な長期借入れを行ったため、平成17年度末の借入残高14億9,680万円を普通会計公債費として算入することとなり、実質公債費比率は突出した数値となっている。

一方、市民税や鉱産税はもとより固定資産税等も激減し、平成17年度の市税は2億5,200万円で、歳入総額に占める割合は4.2%となっており、財政運営は地方交付税に依存せざるをえない状況となっている。

## 3 財政健全化計画

- (1) 実施期間は平成18年度～23年度までの6年間。
- (2) 基本目標は、健全化の大前提として赤字再建団体への転落回避と平成23年度までに財政収支見直しにおける収支不足額を解消するもの。

### (3) 健全化のための具体的方策

市民の財産と生命を守るため最小限の住民福祉サービスの堅持

除排雪事業経費の確保、高齢者世帯への生活不安を解消、災害・防災管理体制の徹底

職員数の削減を進め行政機構のスリム化を図る

退職者不補充の継続、職員給与の削減、福祉施設の民間委託による職員数の削減、勸奨退職制度の見直し、行政機構の見直し

税等の徴収強化

直営事業の見直しを進め、「民にできることは民」に移行

施設売却による経営移管、指定管理者制度の導入促進、公共施設の統廃合、不採算事業からの撤退

財政非常事態宣言

各種補助交付団体に対する補助交付金の削減、加入団体整理による負担金の見直し、類似事業の整理統合、普通建設事業は継続事業のみ実施し、新規事業は必要最小限の事業を実施  
適正な受益者負担

軽自動車税の税率改正、ごみ分別手数料の改定、市有地貸付料の見直し

遊休地、遊休施設等資産の売却

その他

病院事業の経営改善、公営企業会計の経営効率化、第三セクターの見直し

### (4) 財政健全化計画の進捗状況

平成19年度は、実質収支で4,785万5千円の黒字決算

## 4 主な質疑項目

空知産炭地域総合発展基金からの不適正借入額について

多数の共同住宅に占める市営住宅の割合について

高齢化率が高い中で住民税収が高い理由について

周辺市町村との合併が進まない理由について

### 小樽市議会

視察テーマ：地方都市における移住推進事業について

## 1 市の概要

20世紀半ばまでは石炭の道外への輸送や、ロシアとの交易で栄えた。しかし1960年代以降、石炭

需要の低下と北海道内の炭鉱の閉山、ロシア貿易の衰退、近隣の石狩湾新港の整備により港としての機能は衰え、人口も減少傾向にある。

小樽運河は十数年にわたる運河埋め立て論争の結果、昭和61年に一部埋め立ての折衷案により決着し現在の姿となった。これを契機に観光客は年々増加したが、平成11年度の972万人をピークに、減少傾向に転じた。日帰り客が多く、リピーターが少ないことが課題となっている。

## 2 移住促進事業の取組

### (1) ワンストップ窓口の開設(平成17年7月)

北海道の「北の大地への移住推進事業」の登録市町村となり、移住政策の連携を図る。不動産物件等の相談、地元への就職相談など移住に関する各種相談に応じ、内容によっては関係者や団体を紹介。

### (2) 移住に関する専用ホームページの開設(平成17年7月)

### (3) 「おたる移住・交流推進事業研究会」の設立(平成20年7月)

新たな移住ビジネス創出の可能性を探るため、移住・交流希望者の受け入れに意欲のある団体等と協働し、調査、研究及び実験事業を行うことを目的とし、現在、法人推薦会員14名、オブザーバー1名、法人会員29団体で構成。

### (4) 東京及び大阪での「北海道暮らし・フェア」においてPR活動を実施

### (5) これまでの実績(平成17年7月～平成20年12月)

- ・相談窓口受付件数 延べ 167件
- ・ホームページアクセス件数 延べ 66,200件
- ・移住決定件数 28世帯65人

## 3 主な質疑項目

観光イメージが移住・交流に与える影響について  
移住事業に対する民間ビジネスの可能性について

### 札幌市立大学

視察テーマ：公立四年制大学の運営と課題について

## 1 大学の概要

平成18年4月に開学。

デザイン学部(定員80人)と看護学部(同80人)の相補的連携による、地域社会のニーズに応じた高度な専門職業人の養成と、産学官連携事業などによる地域貢献への展開を目指している。

母体は札幌市立高等専門学校で、札幌市立高等看護学院を加えて発展的に統合する形で開学した。大学院設置準備が進められている。

## 2 教育の特徴

デザイン・看護両学部の連携によるユニバーサルデザインの視点に立った都市基盤整備や医療・福祉分野を対象とするデザイン研究に取り組んでいる。

また、デザインと看護の共同研究や異分野との横断的な取組により、市民の豊かな生活や健康を支援することとしている。

## 3 主な質疑項目

開学時の教員の採用状況について